

日本とブラジルをつなぐ WASHI



平成 28 年 8 月 11 日～8 月 18 日 in Sao Paulo

山梨学院高等学校 2 年

小澤あかね 廣瀬久実

1 日目

日本時間 11 日出発→12 時間フライト→グラス時間 11 日 18 時頃グラス到着→10 時間フライト→ブラジル時間 12 日 9:30 頃 GRU 空港到着

一日目は午前中に成田空港まで行き、夜の便でアメリカ・グラスに向かいました。降りる駅を間違えたり、飛行機の時間が遅くなっていたりなど多少のハプニングはありましたが時間を十分にとっておいたので無事出発することができました。

2 日目

ブラジル時間 12 日到着→ブラジル山梨県人会事務所→昼食→会場(日本語学校) 見学→ホームステイ先へ→副知事さん御一行、県人会の方々との夕食会

初日のお昼はブラジル料理をいただきました。

ライスは油とニンニクでゆでたもので、それにフェイジョンという豆料理をのせて食べる伝統料理をいただきました。

次に、会場となる日本語学校へ下見、準備をしに行きました。

会場はサイズもちょうどよく、その場で机やいすを並べたりさせていただいたので当日の朝の準備を少なくすることができました。

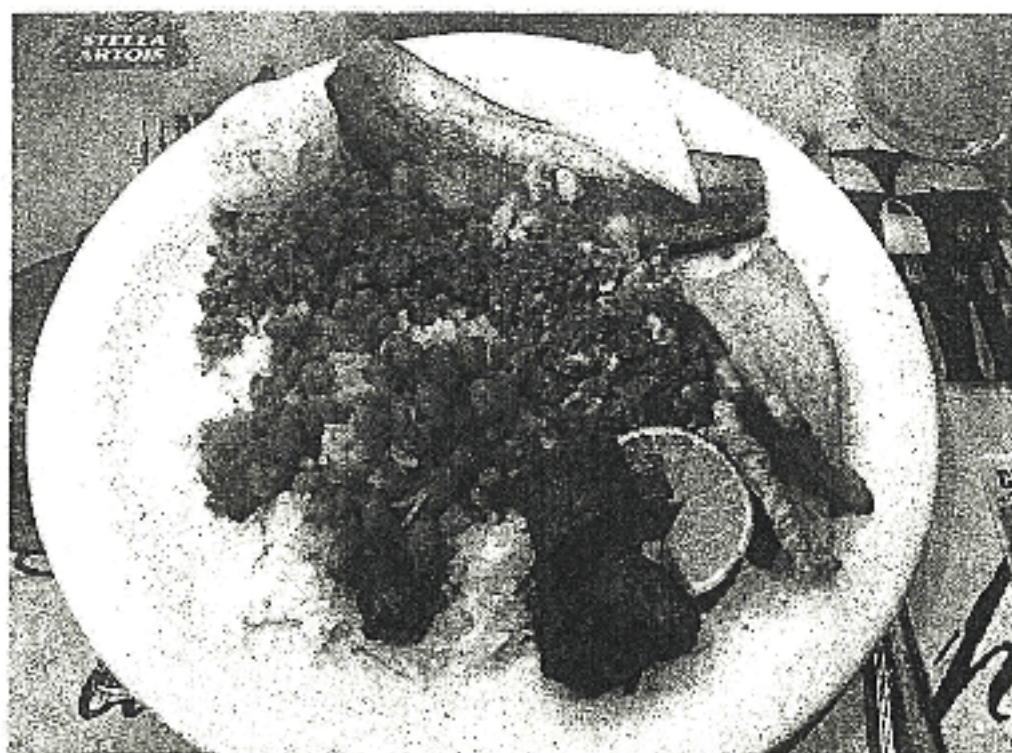
夜は山梨県副知事新井議員をはじめ県庁の方や、県人会の方との夕食会では、多くの方と話をすることができました。研究員として日本に来ていた方も多く参加されていて、研究員の存在すら知らなかったのが貴重なお話しを聞くことができました。研究員の方々は職種も様々だったので、今後日本に来る研究員の方がいらしたら交流をしたいと感じました。また、ここでもブラジル料理であるシュラスコというお肉をいただきました。

よかったこと

- ・何事もなくブラジルに到着できた
- ・準備を早めに行うことができた
- ・文化に触れることができた

反省点

- ・下見の時点でプロジェクターとの接続確認がうまくできなかった



ブラジル料理



↑ワークショップ会場下見

3日目 活動初日

和紙作り体験ワークショップ→県人会 BBQ

ワークショップ初日は定員 20 人と言っていた中、それを大きく上回る 30 人もの方に参加していただきました。そのため、20 セット用意していた和紙キットが足りず、2人で1つ使っていただくことになりました。

朝、準備の過程で、ノリと墨汁を日本から持ってくるのを忘れてしまったことに気が付き、一時はどうなるものかと思いましたが、ホストファミリーの方が買いに行っておき、何とか間に合わせる事ができました。

また、さすがに墨汁は売ってないかなと、心配していましたが、日系人が多いことから日系のショップがあり、そこで購入することができました。

ワークショップでは、日本でも系列の大学の留学生を対象に練習をかねてワークショップは開いていたものの、現地はポルトガル語が公用語であり、私たちは話すことができないので、コミュニケーションがうまく取れないことも多少ありました。しかし、参加者の中の日系人の方や、県職員であるダニエラさんが通訳をしてくださりました。コミュニケーションの部分ではとくに多くの方の力を借りることが多く感謝しています。

和紙作りは順調にでき、天気にも恵まれ、予定通りに屋外で和紙を乾かすこともできました。

和紙を知っている方が多かったのですが、オリジナル和紙は作ったことがなく、皆さん楽しんで活動してくださいました。

午後はまず山梨についてのプレゼンを行いました。英語で原稿を作っていたのですが、ブラジルの方は英語がわからない方が多いとのことで急遽ダニエラさんに通訳をしていただきました。

富士山やフルーツの紹介をして、中にはメモを取りながら真剣に聞いてくださる参加者もいて嬉しかったです。

富士山の写真が出ると感嘆する声が上がったり、富士急ハイランドの写真が出るとどよめきが起こったり、言葉は通じなくても写真やジェスチャーを通して交流をすることができることを実感しました。

その後じゃんけんゲームやつまようじ入れづくり、コーヒーブレイクでの抹茶の提供などを通して交流を深めました。

そして最後に乾いた和紙に習字でデコレーションをしました。まず、私たちがデモンストレーションを行いました。「絆」などの言葉を書き、みなさんの参考になるよう壁に貼りました。参加者の皆さんは自分の名前を書いたり、友、愛などの文字を書いていました。その過程でも、お手本を書くことが多く、交流

をすることができました。

参考に持って行った名所双六がプリントされた大きな和紙なども人気で、大勢の方が興味を示してくれました。また、欲しいという方も多く、用意して行ってよかったです。また、最後には「日本」「オリンピック」「夢」の三つのテーマについてそれに対する気持ちやイメージなどをそれぞれ付箋に書いてもらいました。(初日だけのアクティビティ)

ポルトガル語だったので全てを読むことはできなかったのですが、2020 東京オリンピックがんばれなど東京五輪の応援や期待を書いてくれる方が多く、嬉しかったです。

夜は山梨県人会の BBQ に参加させていただき、多くの日系の方々と話すことができました。日本のタイムリーなニュースにも詳しく、私たちの通う高校が山梨県代表として甲子園にでる話などをし、応援していただいたりと、楽しく過ごすことができました。

良かったこと

- ・言葉は通じなくても和紙作りや習字を通して交流をすることができた。

反省点

- ・日本に忘れ物をしたこと。確認をおろそかにしてしまった。



↑1日目の参加者の方々



↑オリンピックへのコメント



↑ワークショップの様子



↑コメント貼り

4日目 活動2日目

和紙作り体験ワークショップ→山梨県人会主催カラオケ大会

2日目は前日のままにしておいたので準備もほとんどなく始められました。この日は父の日で休日だったことから参加者が少ないと思われていましたが16人と予想以上の方に来ていただきました。

1日目と変わらぬスケジュールで動きましたが、2日目は女子高生にも参加していただき、日本について沢山質問をしてくれたり、サンバを教えてくれたりと楽しく活動できました。

また、この日は参加者の人数が少なかったことから、キットを一人一つ使うことができ、スムーズに行うことができました。

その後第15回山梨県人会主催カラオケ大会に参加させていただきました。数百人の方々が丸1日かけて歌うこの大会で、私たちは二人で大塚愛のプラネタリウムを歌いました。

ブラジルという日本の真逆の地にいるにも関わらず、日本の歌を日系の方が歌っていて、日本にいるような気持ちになりました。その後はホストファミリーごとに時間を過ごしました。

良かったこと

- ・二日目はワークショップにも慣れ、初日よりスムーズに活動できた



↑2日目の参加者の方々

5日目 活動3日目

和紙作り体験ワークショップ→ショッピング

この日は活動最終日で正直疲れもありました。しかし、平日だったことから参加者の人は21人とちょうどよく、最後までしっかりやりきることができました。また、この日は前日のカラオケ大会で私たちのことを知り参加してくれた方もいました。嬉しかったです。

この日は和紙に詳しい方や、押し花の先生などが来てくださり和紙にオリジナルで押し花を入れるなど工夫して作品を作る方が何人かいて、私達も勉強になりました。

最後のワークショップは「最後か。」と思うと寂しい気持ちになりました。3日間、毎日違う方々との出会いがあり、交流の仕方もその時々で変わり、多くの今までにない体験をすることができました。

最初こそ戸惑いのあったブラジル流のあいさつも3日目には自分たちから自然とできるようになりました。いたるところで文化の違いを実感することのできた期間でもありました。

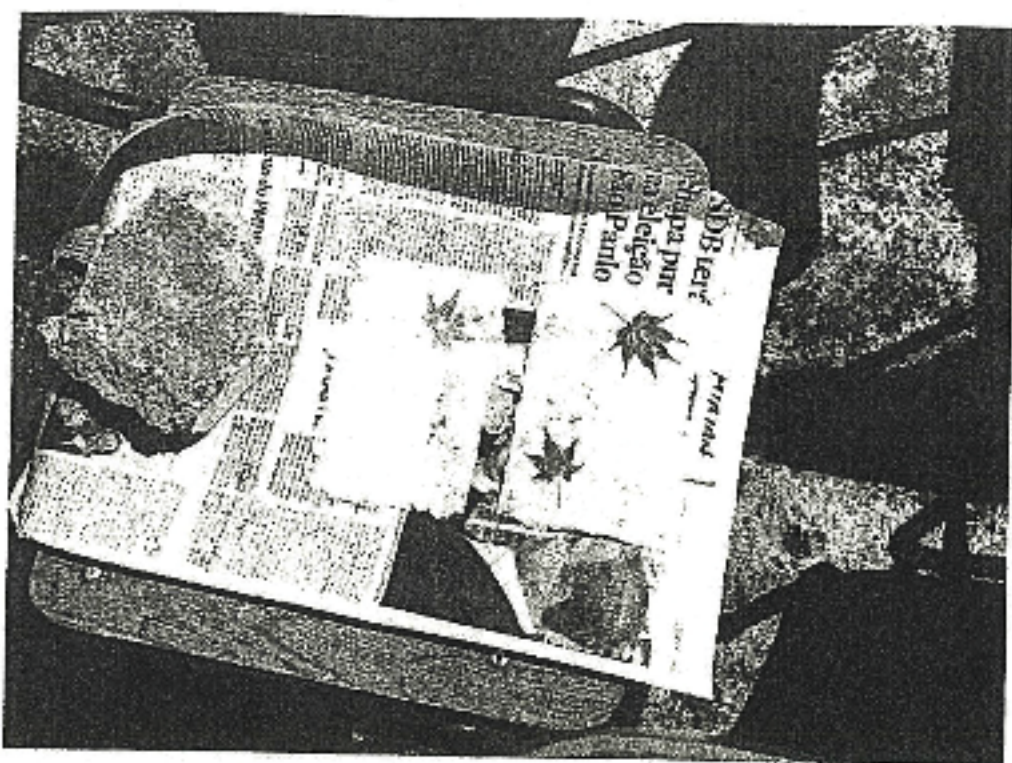
ワークショップ終了後はショッピングへ行き、お土産を買うことができました。ブラジルのお土産はコーヒーやチョコ、サンダルが有名でした。

よかったこと

- ・工夫してオリジナル和紙を作ろうとしている方に私達なりにアドバイスができた。押し花が乾かしたときに落ちてしまわないように上から半紙を重ねるなど臨機応変に対応できた

反省点

- ・ブラジルで和紙は何で作れるかと聞かれたときに私達らが答える前に参加者の方にこたえていただいたこと
- ・勉強不足だった



↑押し花を入れた和紙



↑出来上がった和紙に習字

6 日目

市場見学→サッカースタジアム見学 →昼食→山口さん宅→GRU 空港
ブラジル時間 16 日 21:30 発

午前中は市場へ行きました。果物や肉、調味料など多彩な商品が並んでいて日本のとの違いを感じました。日本でも市場はありますが、一つの場所にあれほど多くの店が立ち並ぶ光景は今まで見たことがありませんでした。また、客が調味料やドライフルーツなどをつまんで食べている姿を多く見かけました。理由を聞くと、ブラジル人は味見をして確かめてからでないと思わないということを知りました。日本では無断で商品を食べたら怒られてしまうな、と感じました。そこで塩やはちみつ、ナッツなどを購入できました。

また、スタジアムなどの観光もできブラジルでの思い出がたくさんできました。最後に訪れた山口さん宅では奥さん手作りのブラジル料理のバステルから餃子や羊羹など美味しいお料理をたくさんいただきました。

飛行機に乗る前にゆっくりできよかったです。

そしてブラジルを離れ NY へ向かいました。



↑ 市場の様子



↑仲良くなったフルーツ屋さん

7日目

NY時間 6:20 着→NY時間 9:40 発

NYでは時計をブラジル時間のままにしていたので、時間がない！と焦る場面もありましたが、無事間違いにも気づき乗り継ぎをすることができました。

8日目

日本時間 12:40 成田空港着→バスで山梨へ

全ての日程を終え20数時間のフライトを経て無事日本に帰国することができました。

疲れもありましたが、充実感でいっぱいの帰国となりました。

感想

今年3月のコンクールを思い出すと、周りのプレゼンの完成度に圧倒されて企画のアイデアに自信はあったものの、ブラジル行きを決定する自信はありませんでした。ですが賞をいただき、そこでは言語や文化を超えるものは「体験すること」なのだと思い直しました。それからミーティングや同じ趣旨のイベントを開催し、現地での活動をより良いものにしようとたくさんの方に協力していただきました。また、ミーティングだけでなく普段の生活の中でもブラジルに行くことについて考え、触れるようになっていきました。

現地では、地球の裏側ブラジルの文化や街の雰囲気が面白く、あっという間の滞在でした。中でも心に残っているのが街のいたるところにいるホームレスの方々です。日本ではあまり現実的に感じられないホームレスの方の存在を目の当たりにし、正直言葉が出ませんでした。私は実際に何を行動に移せるだろうか、と改めて深く考えました。その答えは今課せられている使命を精いっぱいこなすということでした。それに気づいたのは滞在のこり数日のことでしたが、それはブラジルだけではなく、世界万国どこでも通じることだと思いました。またワークショップでは初日から私たちの目安としていた人数を優に超える30人以上参加者の方に集まっていただきました。その中でみんなバラバラな和紙が出来上がっていくことが山梨でのイベントよりも興味深く、試行錯誤しながらみなさんが和紙作りに熱中している姿をみていてここに来てよかったと心底思いました。さらに2日目、3日目もたくさんの方に来ていただき嬉しく思いました。イベント以外のお世話も県人会の方に全力でサポートしていただき、いい体験がたくさんできました。ここに来るまでにたくさん考え、悩み、苦しんだこともありましたが、すべてが最高の思い出になり、自分の強みになりました。

日本から一番遠いブラジル。言葉にできないほどの勉強をたくさんしてきました。奥石さん、ダニエラさんをはじめとする県庁の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。 小澤あかね

3月に行われたコンクールから5か月がたち実際にブラジルに行くまで大変なこと、楽しいことたくさんを経験しました。

はじめはただ海外へ行きたい！という思いからこのコンクールへの応募を決めました。しかし決めてからも企画が決まらず二人でとても悩んだのをよく覚えています。その中で言葉が通じないから体験を通して、肌で文化を感じるこ

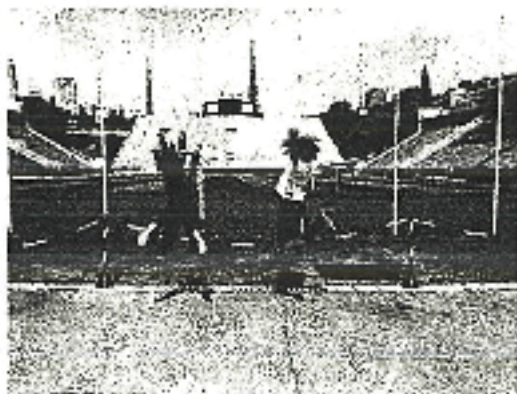
とのできる企画がしたいという思いが強くなりました。そこで和紙作りを思い
つきました。賞をいただき実際に渡航することになってからは細かい日程づく
りや企画の工夫など多くのしなければいけないことがあり、学校の勉強や部活
との両立が難しく、思うように進まないこともありました。しかし、県庁の興
石さん、ダニエラさんの支えがあり、ギリギリではありましたが全ての準備を
終えることができました。

そして実際の現地での活動はやはり言葉が通じないことが心配でしたが、日
系の方も多く、通訳をしてくださったこともありコミュニケーションをスムー
ズにとることができました。思い返すと、右も左もわからない状態で日本の真
逆の異国の地へ行き何事もなく企画を成功させることができたのは、仕切って
くれた県人会の方々、急な買い出しにも嫌な顔一つせず行ってくださったホス
トファミリー、そして8日間参加して下さった50人を超える参加者の皆さん
のおかげだったと感じます。そして、そんな皆さんのおかげで、企画、ブラジ
ル共に心から楽しむことができました。そしてこの経験は私にとってかけがえ
のないものとなりました。

また、山梨県の魅力を紹介するにあたって山梨県について改めて様々なこ
とを調べました。その中で知っているつもりでも調べてみるとより深い魅力が
隠れていたり、新しい発見ばかりでした。そして私はより山梨の魅力を知っ
てもっと多くの人に発信していきたいというおmoiが強くなりました。だから
この企画が終わっても山梨の魅力化にどこかで関わっていきたいと考えていま
す。

この経験を通して学んだこと感じたことを忘れることなくこれからの活動に
生かしていきます。このような貴重な機会を与えて下さりありがとうございました。
廣瀬久実

この企画に携わり、支えてくださったすべての方に感謝いたします。
ありがとうございました。



平成28年9月8日

山梨学院高等学校 2年

小澤あかね 廣瀬久実